

## 新区議・前区議らが“区政への思いを熱く語る”＝川端住民の交流会＝ スーパー堤防や区画整理事業に疑問の議員が篠崎・18班・北小岩住民と交流

江戸川及び荒川の治水方式、区画整理問題に疑問をもつ区議会議員、前区議らが篠崎地域有志の「川端住民」の呼びかけに応じ、6月28日（日）午後、市川市の「市川グランドホテル」に参集、懇談のひと時をを過ごしました。

会合では初鹿明博衆議院議員の秘書、公共事業改革市民会議の代表らの挨拶の後、4月の選挙で選ばれた江戸川区議会議員の新人もベテランも、現在の区政にはいくつもの課題、特に住民生活に直結する大きな問題がある、と語りました。その口調は力強く、今後の活躍が大いに期待されるものでした。予定の2時間は懇談や余興の披露などで「アツ」と言う間に過ぎ、最後に川端住民交流会の呼び掛け人を代表して篠崎・妙勝寺前住職夫人、渡邊美代子さんが『皆と助け励まし合いながら、今後がんばろう』と締めくくりました。



川端住民交流会交流に参加の皆さん



挨拶する妙勝寺の渡邊美代子夫人



乾杯の挨拶をする戸口運営委員長

### ―出席者からのひと言―

小俣のり子 多田区政は余りにも住民を無視している。区政を変えて行きたい。  
大橋みえ子 区民の声をまっすぐ議会に届けます。

須田哲二 区長の論理はおかしい。私達の論理を明確に訴え、住民の生活を守る。  
牧野研二 自宅が18班のそば。住民の声を議会に届けて行く。(以上、日本共産党)  
本西光枝 大型公共事業よりも、人を大切にす社会へ。

伊東ひとみ 派遣労働者の目線で議会を見つめたい。(以上、生活者ネット)  
神尾昭央 市民の感覚を議会に吹き込んでいく。(以上、民主・維新・未来)  
岩田将和 スーパー堤防は全く理解できない。区というモンスターと闘うため、共に考えて行く。(以上、無所属)

### ―「考える会」は新たな陳情書を追加提出― 「意見陳述を求める陳情」2件を議会事務局へ

皆様にご協力いただいた意見陳述を求める陳情「補助283号線拡幅反対」及び「スーパー堤防よりも内水氾濫対策に重点を」の2件は、7月7日時点で前者が113筆、後者が56筆となりました。ありがとうございました。

この陳情書は、7月16日、江戸川区議会事務局に提出しました。